

中国的な「BL ジャンル」とは何か

—中国人オーディエンスの視聴行為と関心動向からの考察—

XUE Ruiqi

1990年代から、中国ではインターネットの発展と普及により、海賊版などを通じてBL文化を含む日本のサブカルチャーが大量に流入した。中国では、男性同士の恋愛を描いた物語が「耽美」と呼ばれることが多い。2000年代に中国ではネットで小説を投稿する人が増え始め、耽美小説の創作も増えていくことになった。2014年から中国大陸で制作された耽美ドラマ・映画が登場した。中国の耽美コンテンツは主にインターネット上で生まれ、発展し続けている。しかし、中国では、耽美関連映像の制作と配信に対する検閲が厳しくなったため、中国のドラマ・映画を制作するメディア会社は原作の中の男性同士の恋愛関係を他の関係に変えてドラマ化・映画化していくようになった。こうしたドラマと映画は「耽改」と呼ばれる。さらに、2021年9月中国中央宣伝部、国家新聞出版署から「女性的な男性、ボーイズラブを徹底的に排除する」と発表されたことで、耽改ドラマ・映画も放送できなくなった。しかしながら、中国ではこのような映像の放送が禁止されたにもかかわらず、依然としてネット上で小説の投稿と閲読を行うことができる。そして、有名な中国の耽美小説、耽美ドラマ・映画、耽改ドラマ・映画については海外での出版・放送が行われている。このように、海外のBL作品が中国で受容され、中国の「BL作品」も海外に流通している現在、男性同士の恋愛を中心にした作品は国境および文化領域を越境し交流しつつある。

中国の「BL作品」全般について見てみると、小説、マンガ以外にも、上記の過程を通じて明らかに変化したのは、ネットで放送されている「BLジャンル」のドラマ・映画であることがわかる。このようなドラマや映画などのジャンルの変容について、メディア産業、オーディエンス、およびそれに応じて形成されるテキストという三つのカテゴリーの相互作用の結果である。そのため、中国の「BLジャンル」は中国のメディア産業、中国人オーディエンス、そして作られたテキストを通じて形成されると捉えることができる。また、中国ではネットユーザーが益々拡大しており、ネット上でのユーザーの視聴行動はネットメディアの放送内容にも影響を与えられられる。

したがって、本研究では、上記のジャンルの形成のカテゴリーを踏まえ、耽美・耽改コンテンツを生んだ中国の社会とメディア産業、中国人オーディエンスの視聴行為と関心動向を検討することに

より、中国に流入したBL文化が中国ネット社会での展開に伴い、どのように中国的な「BLジャンル」となっていったのかを探り、中国の「BL ジャンル」を定義した。また、トランスナショナルな「BL ジャンル」が中国の一部のオーディエンスにどの程度受け入れられているのかも明らかにした。

具体的に、第 1 章では、日本のサブカルチャーが中国大陸に流入した歴史と、中国がこのような文化にどのように対応してきたのかという文脈を概観し、中国の文化政策とメディアの状況について整理した。第 2 章では、中国における男性同性愛の歴史、中国現代社会における同性愛および同性愛者に関する政策や研究などを遡り、日本から中国に流入した BL 文化の中国での展開を概観し、また、このような中国の歴史と文化政策の下で、中国大陸のメディアがどのような耽美コンテンツを制作したのかを検討した。第 3 章では、Douban というサイトのユーザーの耽美・耽改ドラマに対するコメントの数と評価の採点により、上位の 6 本の耽美・耽改ドラマを取り上げ、それらのネット上のコメントを考察し、中国の耽美コンテンツに対する中国人オーディエンスの意見と期待を解明した。